

施策評価調書(30年度実績)

政策体系	施策名	戦略的広報の推進	所管部局名	企画振興部	施策コード	Ⅱ-6-(1)
	政策名	大分県ブランド力の向上	関係部局名	企画振興部、生活環境部、商工観光労働部、農林水産部	長期総合計画頁	117

【Ⅰ. 主な取り組み】

取組No.	①	②	③	④
取組項目	「おんせん県おおいた」としての統一イメージの浸透	信用力のある世界ブランド・地域ブランドの活用	広報と政策の連携強化とそれを生かした商品づくりとの連携	ターゲットを明確にした広報の時期・場所・媒体の最適化
取組No.	⑤			
取組項目	海外広報の強化			

【Ⅱ. 目標指標】

指標	関連する取組No.	基準値		30年度			元年度	6年度	目標達成度(%)				
		年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値	目標値	25	50	75	100	125
i 地域ブランド調査(魅力度ランキング)(位)	①②③ ④⑤	H26	22	18	23	83.3%	17	12					

【Ⅲ. 指標による評価】

評価	理由等	平均評価
i 達成不十分	「おんせん県おおいた」のイメージ浸透のため、PR動画を作成し認知度向上を図ったが、多くの自治体がPR動画を作成する中、温泉以外の魅力の情報発信が不足したことなどにより魅力度ランキングは全国23位と目標には届かなかった。30年度からはPR動画に替わる広報として、情報発信力がある県外のゲストが大分県の隠れた魅力を発見し、拡散する取組をはじめ、新たなファン層の獲得を進めている。	達成不十分

【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	・おおいた魅力アップ推進事業において、新たなPR方法として自前のWEBで隠れた魅力的な情報を発信する「大分で会いましょう。」を展開し、新たなファン層の獲得を進めた。
②	・姫島、豊後大野両ジオパークの活動を推進するため、看板設置やガイド養成等に対する助成を行い、受入れ態勢の充実を図った。 ・ユネスコエコパークの認知度向上のため、小学生向け解説冊子の作成や福岡県等でのPR活動を行った。また、エリア内の様々な分野の地域活動団体の交流を行い、自然と共生する地域振興を進めた。 ・世界農業遺産認定5年目を迎え、SNSを活用したフォトコンテストを実施し、世界農業遺産を幅広く紹介することにより認知度の更なる向上を図るとともに、認定5周年記念シンポジウムにおける認定地域内の団体等の活動事例の紹介や当該活動に対する助成等を行い、世界農業遺産を活用した地域活性化の取組拡大を図った。
③	・海外向けとして、大分の魅力的な風景を詰め込んだPR動画「Welcome Oita Wonders」を制作。AP通信による広告配信などを行い、広く世界に向けて大分県PRを図った。
④	・ツーリズムおおいたや各県外事務所におけるパブリシティ活動により、テレビや雑誌への掲載が行われた。
⑤	・駐日大使館職員を招聘し、意見交換会や懇談会を行い、ラグビーワールドカップの機運醸成を図った。 ・台湾台中市で開催された台中フローラ世界博覧会において、本県の伝統工芸である竹工芸と観光のPRを行うことができた。香港ではレストランでの大分フェアを開催し、現地メディアを通じて、食と観光の情報発信を行った。

【V. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(30年度事業)	事業コスト(千円)	事務事業評価		主要な施策の成果掲載頁
			総合評価	元年度の方向性	
①③ ④⑤	おおいた魅力アップ情報発信事業	127,466	A	終了	21
②	おおいたジオパーク推進事業	39,409	A	継続・見直し	101
	祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク推進事業	17,687	A	継続・見直し	102
②⑤	世界農業遺産ファンド推進事業	1,531,000	A	継続・見直し	212
⑤	インバウンド推進事業	80,343	A	継続・見直し	14
	海外戦略加速化事業	46,756	A	継続・見直し	17

【VI. 施策に対する意見・提言】

<p>○第9回「安心・活力・発展プラン2015」推進委員会(H30.7)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域ブランドの全国順位が15位(H28)から21位(H29)に下がったのは大きな課題。 ・地域ブランド力を高め、観光業を更に強化させ、大分県の魅力を高めていくために施策の深掘りが必要である。 	
--	--

【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
B	・従来の温泉を中心とした大分県の魅力発信に加えて、人、モノ、コトといった様々な角度から大分県の魅力をデジタルマーケティングを活用しつつ発信していき、様々な層へ大分県の魅力を伝え、ブランドの強化を図る。